
◎[老中八策] 「尊厳」ある高齢期を送る指針 ここからひとつずつ・ひとつでも

- 一 65歳から90歳までの25年を他力依存でなく過ごすため「自立意識」を確立中
- 二 「引退余生」でなく「現役長生」の高齢期を充実するために「社会参加」を継続中
- 三 培ってきた知識技術を活かして円熟期の暮らしを豊かにする「優れモノ」を制作中
- 四 体(≧病気) 志(≧認知症) 行(≧介護) 三つのバランスで「包括ケア」を体現中
- 五 三世代(青少年～30歳・中年～60歳・高年～90歳+)「協働社会」を創出中
- 六 高齢者が集える居場所で談議してみんなの課題やそれぞれの「自己目標」を実現中
- 七 日また一日欠かさず訪れて励まし合う「支え合い」の現場「地域生活圏」を形成中
- 八 水玉模様のような小さな会に加わり成果を語って各地各界の「仲間同士」と連携中

注:「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」(高齢者五原則)は国連が提唱する国際的指針。

2012・5・1～2016・8・1～
